

御原小学校だより

児童数 256名

<御原小学校の教育目標> 「志をいただき、人とつながり、未来を拓く子どもの育成」

【合言葉】「つながって、笑顔いっぱい！」

文責：中村 敬子

○運動会へのご観覧、ありがとうございました！

10月27日（日）、前日の雨も上がり、秋晴れのもと、運動会を開催することができました。『つながって 元気いっぱい 笑顔いっぱいの思い出に残る楽しい運動会にしよう』というスローガンのもと、子どもたちはどの演技・競技でも持てる力を存分に発揮し、精一杯頑張る姿が見られました。早朝からたくさんの方の応援、また、終了後には後片付けのご協力、ありがとうございました。



1・2年 おどって♪玉入れ



3・4年 ボールでつながる笑顔リレー



5・6年 自分の色に染めまくれ



1・2年 ドキメキ♪ダンス



3・4年 みはらソーラン



5・6年 全力でやってんだ！

○4年 地域行事の出前授業！

10月21日（月）、小郡市埋蔵文化財調査センターから4名の先生方に来ていただき、「地域で受け継がれてきたもの」の出前授業を行いました。小郡市内で昔から受け継がれている地域行事について、写真を見ながら、メモを取りました。芽の輪くぐりや七夕祭りなど、子どもたちの知っている地域行事も紹介されました。郷土に関わる学習を通して、ふるさと「御原」校区に対する愛着と誇りをもつ子どもたちを育てています。



4年 出前授業の様子

○5年 大刀洗フィールドワーク

10月30日（水）、5年生は、総合「大刀洗空襲をたどる」の学習で、79年前、私たちの地域で起きた「大刀洗空襲」についてフィールドワークをしました。8月6日の平和学習でも、全校放送で「頼田の森の悲劇」「三軒屋の森の悲劇」について当時を知る人の話を紹介しましたが、その場所をGTの石川先生のガイドで実際に歩きました。石川先生は、以前御原小学校に勤務されていた先生で、退職後、市内の小学校で「大刀洗空襲について」体験者の話を交えながら、子どもたちに平和の尊さについて伝承されています。帰りのバスの中では、子どもたちが1番印象に残った場所を発表していきました。一ツ木神社には、79年前の3月27日に空襲を受けて亡くなった31名の子どもたちの名前が彫られた「延命地蔵菩薩」があります。亡くなった子どもの親が子どもたちの冥福を祈って建立されることが心に残ったと話す子どもたちが多かったです。



【大刀洗公園の様子】



【一ツ木神社の様子】

